

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		庁用バス運行事業					事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	060503000053	
総合計画の施策名		0605	健全な財政運営の推進				単独/補助	単独	所属課	020201 財政課	
政策体系	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり						課長名		
	施策名	05	健全な財政運営の推進						グループ	管財契約G	
	手段名	03	③効果的な予算執行						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	02	01	07	01	00	財産管理事業				
法令根拠	桜川市営バス使用要項						単年度繰返し (平成17年度~)				
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 市が主催する事業及び市の協力行政団体、市内小中義務教育学校に対し庁用バスを貸出し、効率的な利用をする。バス集中管理に伴う大型バス2台の配車計画・運行・運転手配置等を市内のバス運行事業者者に委託しながら、その調整事務を実施している。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 バスの利用予約後に提出される申請書に基づき、運行業務を委託する事業者と調整の上、運転手の手配等効率的な運行を行う。 1. 提出されるバス利用申請書や、添付書類の内容を確認し、許可・不許可の手続きをするともに、運行委託事業者に通知をする。必要に応じ、利用者、委託事業者間の連絡・調整をとる。 2. 翌月の予約状況を委託事業者に通知する。 3. 運行実績に応じ提出される委託事業者からの請求に基づき、委託費の支払いをする。 4. 車検を含む車両の点検、修理の手配をする。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
1) 予約内容の確認、及び調整。 2) 修理、車検等の依頼及び支払事務。 3) 運転委託業者への連絡及び調整。 4) 業務委託契約の締結と委託料の支払事務。	委託件数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	庁用バス台数	台	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
公が主催する会議・研修等への参加者。 行政協力団体、市内小中義務教育学校の児童生徒。	行政協力団体数 (市民)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
	市立小・中・義務教育学校数	校	13.00	13.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
移動手段を確保し、各種の事業や研修会、大会等への参加者の負担軽減をはかり、積極的な参加を促す。	バス運行回数	回	108.00	106.00	110.00	110.00	110.00
	搭乗者数		2,873.00	3,277.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	2,351	2,808	3,300		
			事業費計 (A)	千円	2,351	2,808	3,300		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	2,808		12 委託料	3,300	
		合計	2,808		合計	3,300

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容 バスの利用予約後に提出される申請書に基づき、運行業務を委託する事業者と調整の上、運転手の手配等効率的な運行を行う。	08年度の事業内容 バスの利用予約後に提出される申請書に基づき、運行業務を委託する事業者と調整の上、運転手の手配等効率的な運行を行う。	09年度の事業内容 バスの利用予約後に提出される申請書に基づき、運行業務を委託する事業者と調整の上、運転手の手配等効率的な運行を行う。
-----------------	--	--	--

事務事業名	庁用バス運行事業	事務事業No.	60503000053	所属課	財政課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 市（公）主催の各種研修会等の円滑な開催とともに、参加者の負担軽減を図るため始められた。 近年は、学校行事での利用が増えている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ バス使用基準を緩やかにして欲しいとの要望がある。（利用者数の下限など）					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目		
現状維持	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	庁用バスを利用することにより公が主催する行事や、関係団体等の研修・視察の参加者負担が軽減され、それぞれの研修・視察等が円滑に行えることは、市民サービスの向上に結び付く。
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	公が主催する事業や、行政協力団体が実施する行事への参加者を利用対象としており、市が行うことは妥当である。
	③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	定められた利用規則の中での運行・運用なので、成果（利用者、運行回数）を向上させるのは難しい。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	庁用バスの運用を廃止すると各事業や行事への参加者負担が生じ、研修・視察等が円滑に行えなくなる等の影響が考えられる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	目的・手段などを同じくする他の類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	利用するための条件をより厳しくすれば利用件数が減り、運行費用が削減できると思われるが、現在の規定、契約に沿った利用、運行では、現状維持までである。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	公の事業や、行政協力団体が実施する行事に参加する人を利用対象としており、その内容によっては利用者から負担を求めするなどして、公正・公平を図っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） R4年度までは、新型コロナウイルスの影響を受け、利用制限等もあり、利用者が少なかったが、R5年度以降は、利用者の増加が推測されたが、コロナ禍の影響により、生活様式が変化したことによって、状況が改善しても、従来より利用団体数は減少している。大和庁用バスについては老朽化により、今後は修繕など維持費用が高くなる懸念がある。	
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>	
---	--	---	--